

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

Requested Patent: JP11039310A  
Title: INFORMATION DISPLAY SYSTEM ;  
Abstracted Patent: JP11039310 ;  
Publication Date: 1999-02-12 ;  
Inventor(s): IDESAWA HARUO;; OKAYASU AKIMASA;; KITAMURA KENJI ;  
Applicant(s): FUJITSU LTD ;  
Application Number: JP19970190953 19970716 ;  
Priority Number(s): ;  
IPC Classification: G06F17/30 ;  
Equivalents: ;

**ABSTRACT:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To automatically generate an HTML document and also to highlight a result, etc, which is retrieved and accumulated by detecting a selection place from a file that associates image information with its coordinate value and attribute information and further generating an HTML document that shows the attribute information. **SOLUTION:** A seat table generating means 2 creates a file which associates image information of a seat table with its coordinate value and attribute information. An HTML means 4 converts it into image data based on image information in a generated file and generates an HTML document. Also, it generates an HTML document that detects which image data are selected based on the coordinate value of image information in the generated file. Further, it generates an HTML document which shows attribute information in the generated file that corresponds to selected image data. A retrieving means 6 highlights image data that correspond to attribute information and an accumulating means 7 highlights the display of an accumulation result and an accumulated range on a screen.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-39310

(43) 公開日 平成11年(1999) 2月12日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>  
G 0 6 F 17/30

識別記号

F I  
G 0 6 F 15/403

3 7 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 16 頁)

(21) 出願番号 特願平9-190953

(22) 出願日 平成 9 年 (1997) 7 月 16 日

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番  
1 号

(72) 発明者 出澤 治夫

長野県長野市大字鶴賀字鍋屋田 1403 番地 3  
株式会社富士通長野システムエンジニア  
リング内

(72) 発明者 岡安 秋聖

長野県長野市大字鶴賀字鍋屋田 1403 番地 3  
株式会社富士通長野システムエンジニア  
リング内

(74) 代理人 弁理士 岡田 守弘

最終頁に続く

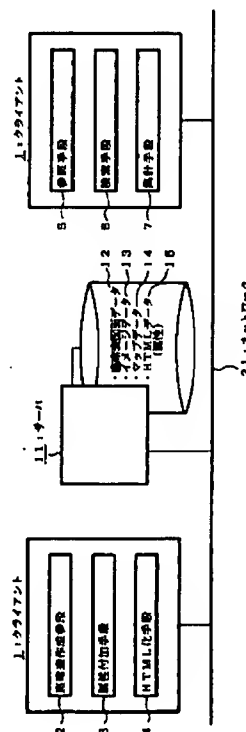
(54) 【発明の名称】 情報表示システム

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、座席イメージに対応づけて情報を表示する情報表示システムに関し、図面 DB ファイル (イメージ情報、座標値、属性情報など) をもとに自動的に HTML 文書を作成すると共に画面上から元のデータを検索、集計してその結果や検索・集計対象を強調表示することを目的とする。

【解決手段】 座席表のイメージ情報と当該イメージ情報の座標値および属性情報を対応づけたファイルを作成する手段と、作成したファイル中のイメージ情報をもとに、イメージデータを作成する手段と、作成したファイル中のイメージ情報の座標値をもとに、イメージデータ内の選択箇所を検出する HTML 文書を作成する手段と、選択させるイメージデータの箇所に対応する、作成したファイル中の属性情報を表示する HTML 文書を作成する手段とを備えるように構成する。

図 1 本発明のシステム構成図



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】座席イメージに対応づけて情報を表示する情報表示システムにおいて、  
座席表のイメージ情報と当該イメージ情報の座標値および属性情報を対応づけたファイルを作成する手段と、  
上記作成したファイル中のイメージ情報をもとに、イメージデータを作成する手段と、  
上記作成したファイル中のイメージ情報の座標値をもとに、上記イメージデータ内の選択箇所を検出するHTML文書を作成する手段と、  
上記選択させるイメージデータの箇所に対応する、上記作成したファイル中の属性情報を表示するHTML文書を作成する手段とを備えたことを特徴とする情報表示システム。

【請求項2】座席イメージに対応づけて情報を表示する情報表示システムにおいて、  
座席表のイメージ情報と当該イメージ情報の座標値および属性情報を対応づけて作成したファイルと、  
画面上で検索項目および検索条件が入力されたときに、  
上記ファイルを検索して該当する属性情報を見つけて当該属性情報に対応するイメージデータを強調表示する手段とを備えたことを特徴とする情報表示システム。

【請求項3】座席イメージに対応づけて情報を表示する情報表示システムにおいて、  
座席表のイメージ情報と当該イメージ情報の座標値および属性情報を対応づけて作成したファイルと、  
画面上で集計項目および集計条件が入力されたときに、  
上記ファイルを検索して該当する属性情報を見つけて集計して集計結果を表示および集計した範囲を画面上で強調して表示する手段とを備えたことを特徴とする情報表示システム。

【請求項4】コンピュータを動作させて、  
座席表のイメージ情報と当該イメージ情報の座標値および属性情報を対応づけたファイルを作成する手段と、  
上記作成したファイル中のイメージ情報をもとに、イメージデータを作成する手段と、  
上記作成したファイル中のイメージ情報の座標値をもとに、上記イメージデータ内の選択箇所を検出するHTML文書を作成する手段と、  
上記選択させるイメージデータの箇所に対応する、上記作成したファイル中の属性情報を表示するHTML文書を作成する手段とを機能させるプログラムを格納した記録媒体。

【請求項5】コンピュータを動作させて、  
画面上で検索項目および検索条件が入力されたときに、  
座席表のイメージ情報と当該イメージ情報の座標値および属性情報を対応づけて登録したファイルを検索し該当する属性情報を見つけて当該属性情報に対応するイメージデータを強調表示する手段を機能させるプログラムを格納した記録媒体。

【請求項6】コンピュータを動作させて、  
画面上で集計項目および集計条件が入力されたときに、  
座席表のイメージ情報と当該イメージ情報の座標値および属性情報を対応づけて登録したファイルを検索して該当する属性情報を見つけて集計して集計結果を表示および集計した範囲を画面上で強調して表示する手段とを機能させるプログラムを格納した記録媒体。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、座席イメージに対応づけて情報を表示する情報表示システムに関するものである。

**【0002】**

【従来の技術】従来、インターネットなどでブラウザを使用して接続したサーバ（WWWサーバ）にアクセスしてホームページなどのHTML文書をダウンロードして画面上に表示させ、当該HTML文書中のファイル名をクリックして当該ファイル名の文書データをダウンロードして表示させることが行われている。

【0003】この際、画面上に表示するHTML文書は、画面上に表示するイメージを作成し、次に、このイメージデータの場所（座標値）に対応づけファイル名などにリンクするように人手によって1つ1つHTML文書中に記述するようにしていた。

**【0004】**

【発明が解決しようとする課題】上述したように、従来のHTML文書は、画面上に表示するイメージデータを作成し、次にイメージデータの場所（矩形の座標値）に対応づけてリンクをファイル名などに記述するという手作業が必要となってしまう、CADシステムなどで作成した要素番号に対応づけてイメージ情報、座標値、属性情報（座席情報、端末情報、人名情報などの属性情報）からなるCADデータがあっても自動的にHTML文書を作成できず、非常に多くの時間が必要となってしまうと共に、HTML文書を画面上に表示して元のCADデータを検索・集計してその結果を表示したりという連携ができないという問題があった。

【0005】本発明は、これらの問題を解決するため、図面DBファイル（イメージ情報、座標値、属性情報など）をもとに自動的にHTML文書を作成すると共に画面上からデータを検索、集計してその結果や検索・集計対象を強調表示することを目的としている。

**【0006】**

【課題を解決するための手段】図1を参照して課題を解決するための手段を説明する。図1において、座席表作成手段2は、座席表のイメージ情報、座標値、属性情報を対応づけて作成するもの、例えばCADシステムである。

【0007】属性付加手段3は、イメージ情報に属性を付加するものである。HTML化手段4は、イメージ情

報から変換したイメージデータ、属性情報などをHTML文書化するものである。

【0008】検索手段6は、検索項目および検索条件をもとにファイル（図面DBファイル）を検索するものである。集計手段7は、集計項目および集計条件をもとにファイルを検索して集計するものである。

【0009】次に、動作を説明する。座席表作成手段2が座席表のイメージ情報と当該イメージ情報の座標値および属性情報を対応づけたファイルを作成し、HTML化手段4が作成したファイル中のイメージ情報をもとにイメージデータに変換してHTML文書を作成、作成したファイル中のイメージ情報の座標値をもとにいずれのイメージデータが選択されたかを検出するHTML文書を作成、および選択されたイメージデータに対応する作成したファイル中の属性情報を表示するHTML文書を作成するようにしている。

【0010】また、検索手段6が画面上で検索項目および検索条件が入力されたときにファイルを探索して該当する属性情報を見つけて当該属性情報に対応するイメージデータを強調表示するようにしている。

【0011】また、集計手段7が画面上で集計項目および集計条件が入力されたときに、ファイルを探索して該当する属性情報を見つけて集計して集計結果を表示および集計した範囲を画面上で強調して表示するようにしている。

【0012】従って、図面DBファイル（イメージ情報、座標値、属性情報など）をもとに自動的にHTML文書を作成することが可能となると共に画面上から元のデータを検索、集計してその結果などを表示することが可能となると共に検索・集計した範囲を強調表示することが可能となる。

【0013】

【発明の実施の形態】次に、図1から図12を用いて本発明の実施の形態および動作を順次詳細に説明する。

【0014】図1は、本発明のシステム構成図を示す。図1において、クライアント1は、図示外の記録媒体からプログラムを読み出して主記憶にローディングして起動し各種処理を実行するコンピュータであって、ここでは、座席表作成手段2、属性付加手段3、HTML化手段4、参照手段5、検索手段6、集計手段7のうちの任意のものを持つものである。

【0015】座標表作成手段2は、座席表のイメージ情報、座標値、属性情報を対応づけて作成するものであって、CADシステムなどであり、後述する図8に示すような座席表のイメージ情報、各イメージ情報の座標値、その属性情報などを対応づけて作成するものである（図2など参照）。

【0016】属性付加手段3は、イメージデータに属性を付加するものである（図2など参照）。HTML化手段4は、イメージ情報から変換したイメージデータ、属

性情報などをHTML文書化するものである（図4など参照）。

【0017】参照手段5は、HTML文書によって表示された画面上のイメージデータが選択されたときに、対応する属性情報などを検索して表示などとするものである。検索手段6は、検索項目および検索条件をもとにファイルを探索して検索結果を表示したり、画面上の該当するイメージを強調表示したりなどとするものである（図6参照）。

【0018】集計手段7は、集計項目および集計条件をもとにファイルを探索して集計し、集計結果を表示したり、画面上の集計対象のイメージを強調表示したりなどとするものである（図7参照）。

【0019】サーバ11は、図示外の記録媒体からプログラムを読み出して主記憶にローディングして起動し各種処理を行うものであって、ここでは、WWWサーバとして動作するものであり、座席表図面データ12、イメージデータ13、マップデータ14、HTMLデータ（属性）15などを管理し、必要に応じてクライアント1のブラウザにダウンロードしたりなどとするものである。

【0020】座標表図面データ12は、ファイル（図面DBファイル）であって、後述する図2などに示すように、要素番号に対応づけて、要素種類、配置座標、属性名、属性データなどを登録したものである。

【0021】イメージデータ13は、クライアント1のブラウザの画面上に表示する各種イメージデータである。マップデータ14は、画面上の所定場所（所定座標値）が選択されたことを検出するデータであって、選択されたときにリンク付けた属性情報などを表示などするためのものである。

【0022】HTMLデータ（属性）15は、画面上の所定場所（所定座標）が選択されたときに表示などする属性情報（端末情報、個人情報など）をHTML文書にしたものである。

【0023】ネットワーク21は、複数のクライアント1およびサーバ11を相互に接続してデータの送受信を行うためのネットワークである。次に、図2ないし図7を用いて図1の構成の動作を順次詳細に説明する。

【0024】図2は、本発明の説明図（その1）を示す。図2において、S1は、座席表を作成する。これは、S2ないしS4によって座席表をCADシステムなどを用いて作成する。

【0025】S2は、CADの起動を行う。これは、CADシステムを起動する。S3は、機の配置を行う。これは、S2で起動したCADシステムを用いて、例えば後述する図8に示すように機の配置（4点の座標および接続線分を指定して配置）を行う。

【0026】S4は、人名の配置を行う。これは、S3で機を配置した後、当該機の使用主である人名を、後述

する図8に示すように入力して配置を行う。以上のS2ないしS3によって、後述する図8のように机、机を使用する人名の作成を行い、右側に記載した図面DBファイル（座席表図面データ）12を作成することが可能となる。この図面DBファイル12は、右側に図示のように、下記の項目を対応づけて登録したものである。

【0027】

- ・要素番号：シーケンシャルな番号
- ・要素種類：机、人名、端末など
- ・配置座標：矩形としたときは左上の座標（x1、y1）および右下の座標（x2、y2）
- ・属性名：
- ・属性データ：
- ・その他：

S5は、属性付加する。これは、S1ないしS4で作成した図面DBファイル12に属性を、S6ないしS13の手順により付加する。

【0028】S6は、どちらの属性か判別する。これは、図面DBファイル12に付加する属性が、「人名」あるいは「端末」のいずれか判別する。人名の場合には、S7ないしS9を実行する。端末の場合には、S11ないしS13を実行する。

【0029】S7は、付加する属性が人名と判明したので、人名要素を指示する。S8は、個人情報の入力画面から個人情報を入力する。例えば後述する図3の（a）

属性名1	属性データ1	属性名2	属性データ2
資産番号	A-01	リース満了日	1999/03/31

を追加登録する。

【0034】S10は、終了か判別する。YESの場合には、終了する。NOの場合には、S6に戻り繰り返す。以上のS11ないしS13、S10によって、図面DBファイル12中の要素種類が「端末」のエントリについて、属性名1、属性データ1、属性名2、属性データ2などを順次登録し、図面DBファイル12の「端末」のエントリに追加登録することが可能となる。

【0035】図3は、本発明の画面例を示す。図3の（a）は、個人情報登録画面例を示す。この個人情報登録画面は、既述した図2のS8で表示し、図面DBファイル12の要素種類「人名」（座標値）に対応づけて登録するための画面であって、ここでは、図示の下記の個人情報の項目について入力して登録する。

【0036】

- ・名前：
- ・所属：
- ・電話：
- ・入社：
- ・メールアドレス：
- ・その他：

以上の画面上で個人情報を入力し、画面上の登録ボタンを押下すると、既述した図2の下段の図面DBファイル

の個人情報登録画面から個人情報を入力する。

【0030】S9は、図面DBに登録する。これは、S8で入力した人名情報を、右側に記載した図面DBファイル12に示すように、例えば要素種類が人名の上から第3行目に示すように

属性名1	属性データ1	属性名2	属性データ2
名前	〇〇 〇〇	所属	総務課

を追加登録する。

【0031】S10は、終了か判別する。YESの場合には、終了する。NOの場合には、S6に戻り繰り返す。以上のS7ないしS10によって、図面DBファイル12中の要素種類が「人名」のエントリについて、属性名1、属性データ1、属性名2、属性データ2などを順次登録し、S4で作成して登録した「人名」の図面DBファイル12の「人名」のエントリに追加登録することが可能となる。

【0032】S11は、付加する属性が端末と判明したので、端末要素を指示する。S12は、端末情報の入力画面から端末情報を入力する。例えば後述する図3の（b）の端末情報入力画面から端末情報を入力する。

【0033】S13は、図面DBに登録する。これは、S12で入力した端末情報を、右側に記載した図面DBファイル12に示すように、例えば要素種類が端末の上から第5行目に示すように

12の指定された要素種類が「人名」のエントリに自動登録されることとなる。

【0037】図3の（b）は、端末情報入力画面例を示す。この端末情報入力画面は、既述した図2のS12で表示し、図面DBファイル12の要素種類「端末」（座標値）に対応づけて入力するための画面であって、ここでは、図示の下記の端末情報の項目について入力して登録する。

【0038】

- ・ハードウェア情報：
- ・資産番号：
- ・リース満了日：
- ・リース金額：
- ・買取り金額：
- ・品名：
- ・ホスト名：
- ・OS：
- ・IPアドレス：
- ・ソフトウェア情報：
- ・プレインストールソフトウェア
- ・その他のソフトウェア
- ・その他：

以上の画面上で端末情報を入力し、画面上の登録ボタン

を押下すると、既述した図2の下段の図面DBファイル12の指定された要素種類が「端末」のエントリに自動登録されることとなる。

【0039】図4および図5は、本発明の説明図である。図4および図5において、S21は、HTML文書を作成する。これは、S22（S23ないしS26）でクリックブルマップ作成、およびS31（S32ないしS35）で属性データのHTML化を行う。以下順次説明する。

【0040】図4において、S22は、クリックブルマップを作成する。これは、S23ないしS26によってクリックブルマップを作成する。S23は、図面DBファイルの読み込みを行う。

【0041】S24は、属性付き要素データの抽出を行う。これは、図4の(b)の図面DBファイル12の属性付き要素データ中から楕円を付加した、「要素番号」および「配置座標」を矢印のように抽出する。

【0042】S25は、座標値マップを作成する。これは、図4の(a)のクリックブルマップ書式(クライアントタイプ)に示すように、クリックブルマップ書式<AREA SHAPE=リンク領域の形状指定 HREF=リンク先のURLを指定 CORDS=リンク領域の座標>:

中の

・SHAPE="RECT"  
・HREF=○○.html  
・CORDS=X<sub>1</sub>, Y<sub>1</sub>, X<sub>2</sub>, Y<sub>2</sub>

を代入し、図4の(c)のクリックブルマップ例の矢印に示すように作成する。

【0043】S26は、ファイルに順次出力する。これは、S25で作成した例えば図4の(c)のクリックブルマップ例をファイルに出力する。以上によって、既述した図2に従い作成した図面DBファイル12をもとに、クリックブルマップ書式に要素番号および配置座標値などを代入してクリックブルマップ(画面上に表示された所定場所が選択されたことを検出するHTML文書)を自動作成できたこととなる。

【0044】図5において、S31は、属性データのHTML化を行う。これは、S32ないしS35によって、属性データ(要素番号に対応する属性名、属性データ)についてHTML文書を作成する。

【0045】S32は、図面DBファイルの読み込みを行う。これは、右側に記載した図5の(a)の図面DBファイル12を読み込む。S33は、属性付き要素データの抽出を行う。これは、図5の(a)の図面DBファイル12の属性付き要素データ中から楕円を付加した「要素番号」、「属性名」と「属性データ」の組みを矢印のように抽出する。

【0046】S34は、HTML変換を行う。これは、図5の(b)に記載したように、S33で楕円を付加した「要素番号」、「属性名」と「属性データ」の組みに

ついて図示の下記のようなフォーマットに代入してHTML文書化する。

【0047】

ファイル名0003.html

<PRE>;

名前:○○ ○○

所属:総務課

電話番号(内線):××××

...

</PRE>;

S35は、ファイルに順次出力する。

【0048】以上によって、既述した図2に従い作成した図面DBファイル12をもとに、要素番号、属性名と属性データの組みをHTML文書フォーマットに代入してHTML文書を自動作成することが可能となる。

【0049】図6は、本発明の検索説明図を示す。図6の(a)は、検索コマンド実行する。ここで、(1)でヘルパーアプリケーションとしてCADが起動される。この際、右側に記載したように、S41でブラウザから検索コマンドを実行し、S42でWWWサーバから図面が転送され、S43で図面を表示してCADが起動されることとなる。これらS41ないしS43は、クライアントのブラウザとしての標準機能として持つものである。

【0050】図6の(b)は、検索開始する。この検索開始により、(1)で検索項目、検索条件が画面上から入力され(詳細にはS44でCADの要素検索コマンドを実行し、S45で検索項目・検索条件を検索項目入力画面から入力され)、(2)で属性データから条件に一致する要素を検索する。そして、(3)でDB図面データ12内の一致する要素のハイライトフラグをONにする(詳細にはS46、S47で図面DBファイル12の検索項目および検索条件に合致するエントリのハイライトフラグをONにする)。例えば

・検索項目: リース満了日

・検索条件: 1999/03/31

に合致するエントリのハイライトフラグを楕円で囲んだようにONにする。

【0051】図6の(c)は、検索結果の表示を行う。これは、(1)で対象要素番号の要素をハイライト表示する(詳細にはS48で図面の再表示を行い、S49で検索結果がハイライト表示、即ち、ハイライトフラグをONにしたエントリの要素番号の要素をハイライト表示(強調表示)する。例えば後述する図12の画面上に表示したイメージ中の該当する要素①をハイライト表示(目立つ異なった色、あるいは輝度を目立つように変えて表示)する。

【0052】以上によって、後述する図12の画面上の小ウィンドウ上に表示された検索項目入力画面上で検索項目および検索条件を入力すると、図面DBファイル12中から該当する要素を検索して見つけ、見つけた要素

を図12の①に示すようにハイライト表示(強調表示)することにより、図12の画面上で検索項目および検索条件に合致する要素を容易に図面DBファイル12から検索して表示させることが可能となる。

【0053】図7は、本発明の集計説明図を示す。図7の(a)は、集計コマンド実行する。ここで、(1)でヘルパーアプリケーションとしてCADが起動される。この際、右側に記載したように、S51でブラウザから集計コマンドを実行し、S52でWWWサーバから図面が転送され、S53で図面を表示してCADが起動されることとなる。これらS51ないしS53は、クライアントのブラウザとしての標準機能として持つものである。

【0054】図7の(b)は、集計開始する。この集計開始により、(1)で集計項目、集計条件が画面上から入力され(詳細にはS54でCADの属性集計コマンドを実行し、S55で集計項目・集計条件を集計項目入力画面から入力され)、(2)で属性データから条件に一致する要素を検索する。そして、(3)でDB図面データ12内の一致する要素について集計を行う(詳細にはS56、S57で図面DBファイル12の集計項目および集計条件に合致するエントリの属性データの集計(例えば総和)を行う。例えば

・集計項目：リース金額  
・集計条件：1998/01/01～1999/03/31  
に合致するエントリの属性データのリース金額の集計を行う。

【0055】図6の(c)は、集計結果の表示を行う。これは、(1)で集計結果を表示する。詳細にはS58で

・集計項目：リース金額  
・集計条件：1998/01/01～1999/03/31  
・集計結果：57000円

という集計項目、集計条件に併せて集計結果を表示する。

【0056】以上によって、後述する図12の画面上の小ウィンドウ上に表示された集計項目入力画面上で集計項目および集計条件を入力すると、図面DBファイル12中から該当する要素を検索して見つけ、見つけた要素の属性データ(ここでは、リース金額)を集計して集計結果を表示すると共に、更に集計対象となった要素(ここでは端末など)を強調表示(例えば図12の②に示すように集計対象の範囲を点線で強調表示)することにより、図12の画面上で集計項目および集計条件に合致する要素を容易に図面DBファイル12から検索して集計結果を表示すると共に併せて集計対象となった属性データ(端末など)の範囲を表示して認識することが可能となる。

【0057】図8は、本発明の画面例を示す。これは、

CADシステムによって、既述した図2に従い、描画して図面DBファイル12に登録したものである。ここでは、

・要素番号：  
・要素種類：  
・配置座標

を描画して登録したものである。

【0058】図9は、本発明の座席表図面データ例を示す。これは、図8のCADシステムで描画した図2の上段の図面DBファイル12に対して、属性名と属性データを付加した後、HTML文書(既述した図2、図4、図5によって作成したHTML文書)を表示したときの座席表図面データの一部を示したものである。

【0059】図10は、本発明の個人プロフィール例を示す。この個人プロフィールは、個人情報を図面DBファイル12の要素種類「人名」に対応づけて登録したときの内容例である。従って、HTML文書を画面上にブラウザによって表示、例えば図12の座席表図面データ上で任意の場所の座席の人名の部分(人名を囲んだ矩形領域)をクリックすると自動的に表示されるものである。

【0060】図11は、本発明の端末情報例を示す。この端末情報は、端末情報を図面DBファイル12の要素種類「端末」に対応づけて登録したときの内容例である。従って、HTML文書を画面上にブラウザによって表示、例えば図12の座席表図面データ上で任意の場所の座席の端末の部分(端末を囲んだ矩形領域)をクリックすると自動的に表示されるものである。

【0061】図12は、本発明の表示例を示す。これは、画面上に表示した例である。ここでは、座席表図面データを表示し、机には人名、端末名をそれぞれ表示し、これら人名、端末名をクリックすると図10、図11で説明した個人プロフィール、端末情報をそれぞれ表示するものである。また、①ハイライト表示は、既述した図6の説明に従い、検索項目および検索条件を指定したときに図面DBファイル12を検索して該当する要素(ここでは端末)をハイライト表示(強調表示)した例を示す。

【0062】また、②集計対象範囲は、既述した図7の説明に従い、集計項目および集計条件を指定したときに図面DBファイル12を検索して該当する要素の集計結果を表示すると共に併せて点線で集計対象範囲を示したものである。

【0063】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、図面DBファイル(イメージ情報、座標値、属性情報など)をもとに自動的にHTML文書を作成できると共に、画面上からデータを検索、集計してその結果を表示できると共に検索・集計対象範囲を強調表示できる。これらにより、CADシステムで作成した図面DBファイ



ルから自動的にHTML文書を作成でき、しかも、画面上で検索項目および検索条件、あるいは集計項目および集計条件を指定すると、画面上で検索できた対象の要素をハイライト表示したり、集計した集計結果と併せて集計対象範囲を強調表示したりし、CADシステムで作成した図面DBファイルとHTML文書との関連づけを自動的に行うことが可能となる共に、保守・管理が容易となる。

【図面の簡単な説明】

- 【図1】本発明のシステム構成図である。  
 【図2】本発明の説明図（その1）である。  
 【図3】本発明の画面例である。  
 【図4】本発明の説明図（その2）である。  
 【図5】本発明の説明図（その3）である。  
 【図6】本発明の検索説明図である。  
 【図7】本発明の集計説明図である。  
 【図8】本発明の画面例である。  
 【図9】本発明の座席表図面データ例である。

【図10】本発明の個人プロフィール例である。

【図11】本発明の端末情報例である。

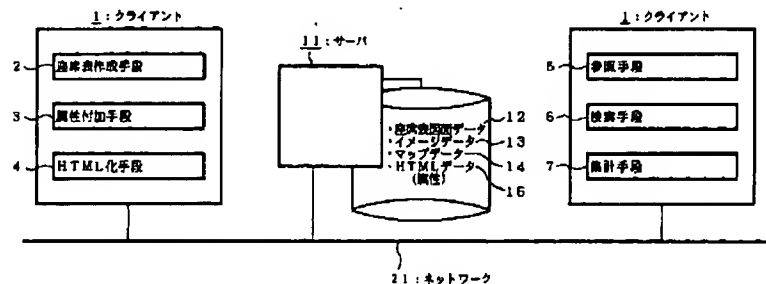
【図12】本発明の表示例である。

【符号の説明】

- 1：クライアント（コンピュータ）  
 2：座席表作成手段  
 3：属性付加手段  
 4：HTML化手段  
 5：参照手段  
 6：検索手段  
 7：集計手段  
 11：サーバ（WWWサーバ）  
 12：座席表図面データ  
 13：イメージデータ  
 14：マップデータ  
 15：HTML（属性）データ  
 21：ネットワーク

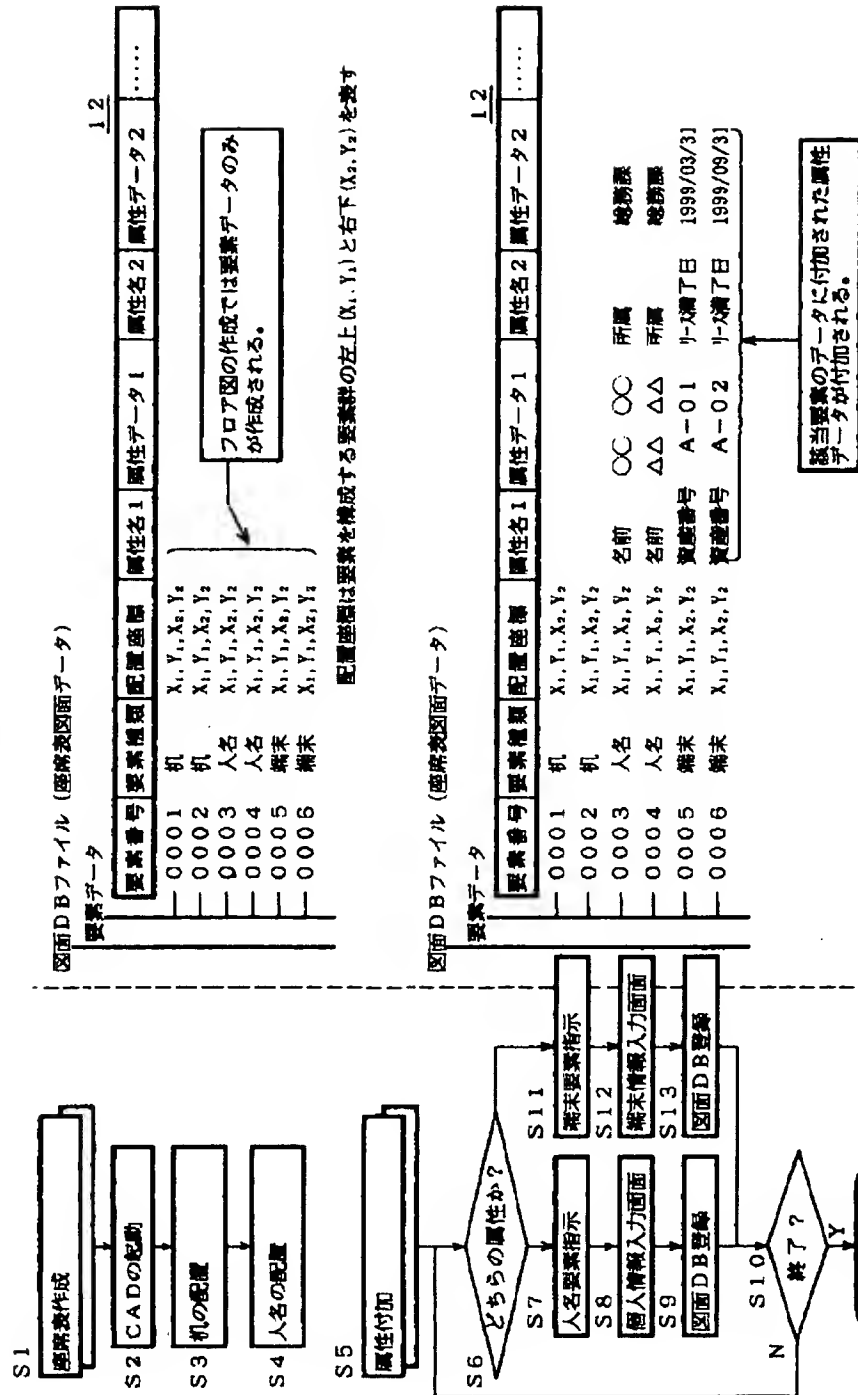
【図1】

本発明のシステム構成図



【図2】

本発明の説明図（その1）



【図3】

本発明の画面例

(a) 個人情報登録画面例

名前:   
 所属:   
 電話:   
 入社:   
 メールアドレス:

(b) 端末情報入力画面例

ハードウェア情報  
 資産番号:   
 リース満了日: 年 月 日  
 リース金額: 円  
 買取り金額: 円  
 品名:   
 ポスト名:   
 OS:   
 IPアドレス:   
 ソフトウェア情報  
 プレインストールソフトウェア  
  
  
  
 その他のソフトウェア

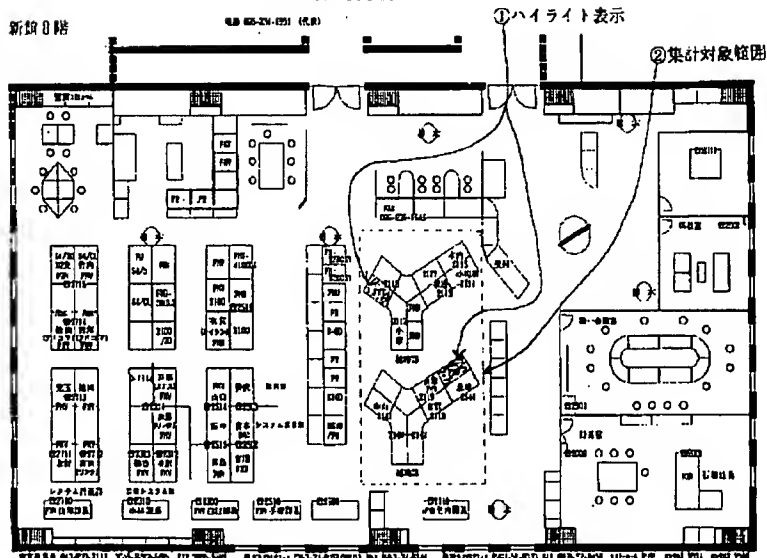
【図11】

本発明の端末情報例

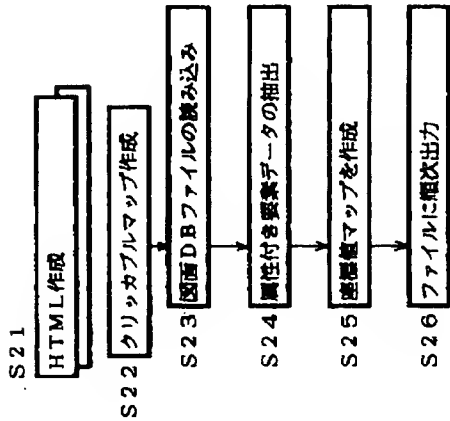
資産番号	0-80
リース満了日	2000/1/31
リース金額	
買取り金額	
品名	FMV4100D4
ホスト名	soumu02
OS	Windows3.1
IPアドレス	172.20.165.93
プレインストールソフトウェア	
FM-Menu for Windows 95	
Lotus 1-2-3 (Win)	
OASYS	
Excel 97/Win 全国版	
その他のソフトウェア	
F-TranIII	
InetBIOSドライバ	
LAN Manager	
lhut	
LISTVIVE (Win)	
Microsoft Excel for Windows	
MS-DOS	
NetscapeNavigator	
OASYS-COM/Win	
TeamOFFICE (Team Library)	
TeamOFFICE (Team Mail)	

【図12】

本発明の表示例



本発明の説明図（その2）



(a) クリックابلマップ書式 (クライアントタイプ)

<AREA SHAPE=リンク領域の形状を指定 HREF=リンク先のURLを指定 COORDS=リンク領域の座標>  
SHAPE='RECT' ... 固定  
HREF='○○.html' ... プログラム内自動生成 (要素番号等、一意に決まる値)  
COORDS=X<sub>1</sub>,Y<sub>1</sub>,X<sub>2</sub>,Y<sub>2</sub> ... 配置座標のデータをピクセル単位に変換した値

(b) 図面DBファイル (座標表図面データ)

要素データ		1 2				
要素番号	要素種類	配置座標	属性名1	属性データ1	属性名2	属性データ2
0001	机	X <sub>1</sub> ,Y <sub>1</sub> ,X <sub>2</sub> ,Y <sub>2</sub>				
0002	机	X <sub>1</sub> ,Y <sub>1</sub> ,X <sub>2</sub> ,Y <sub>2</sub>				
0003	人名	X <sub>1</sub> ,Y <sub>1</sub> ,X <sub>2</sub> ,Y <sub>2</sub>	名前	○○	所属	総務課
0004	人名	X <sub>1</sub> ,Y <sub>1</sub> ,X <sub>2</sub> ,Y <sub>2</sub>	名前	△△	所属	総務課
0005	端末	X <sub>1</sub> ,Y <sub>1</sub> ,X <sub>2</sub> ,Y <sub>2</sub>	資産番号	A-01	リ-ス満了日	1999/03/31
0006	端末	X <sub>1</sub> ,Y <sub>1</sub> ,X <sub>2</sub> ,Y <sub>2</sub>	資産番号	A-02	リ-ス満了日	1999/09/31

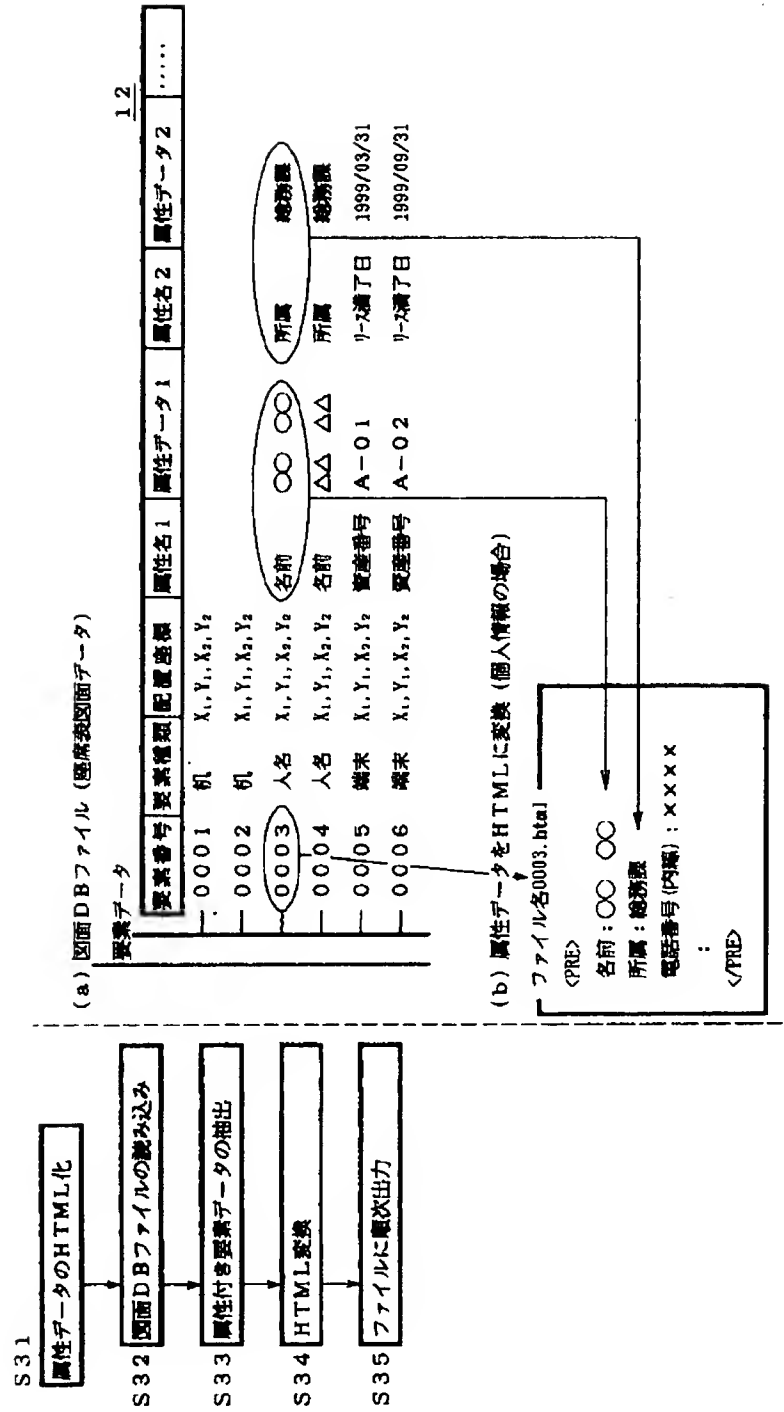
(c) クリックابلマップ例

<AREA SHAPE='RECT' HREF=0003.html COORDS= X<sub>1</sub>,Y<sub>1</sub>,X<sub>2</sub>,Y<sub>2</sub>>  
<AREA SHAPE='RECT' HREF=0004.html COORDS= X<sub>1</sub>,Y<sub>1</sub>,X<sub>2</sub>,Y<sub>2</sub>>  
<AREA SHAPE='RECT' HREF=0005.html COORDS= X<sub>1</sub>,Y<sub>1</sub>,X<sub>2</sub>,Y<sub>2</sub>>  
<AREA SHAPE='RECT' HREF=0006.html COORDS= X<sub>1</sub>,Y<sub>1</sub>,X<sub>2</sub>,Y<sub>2</sub>>

【図4】

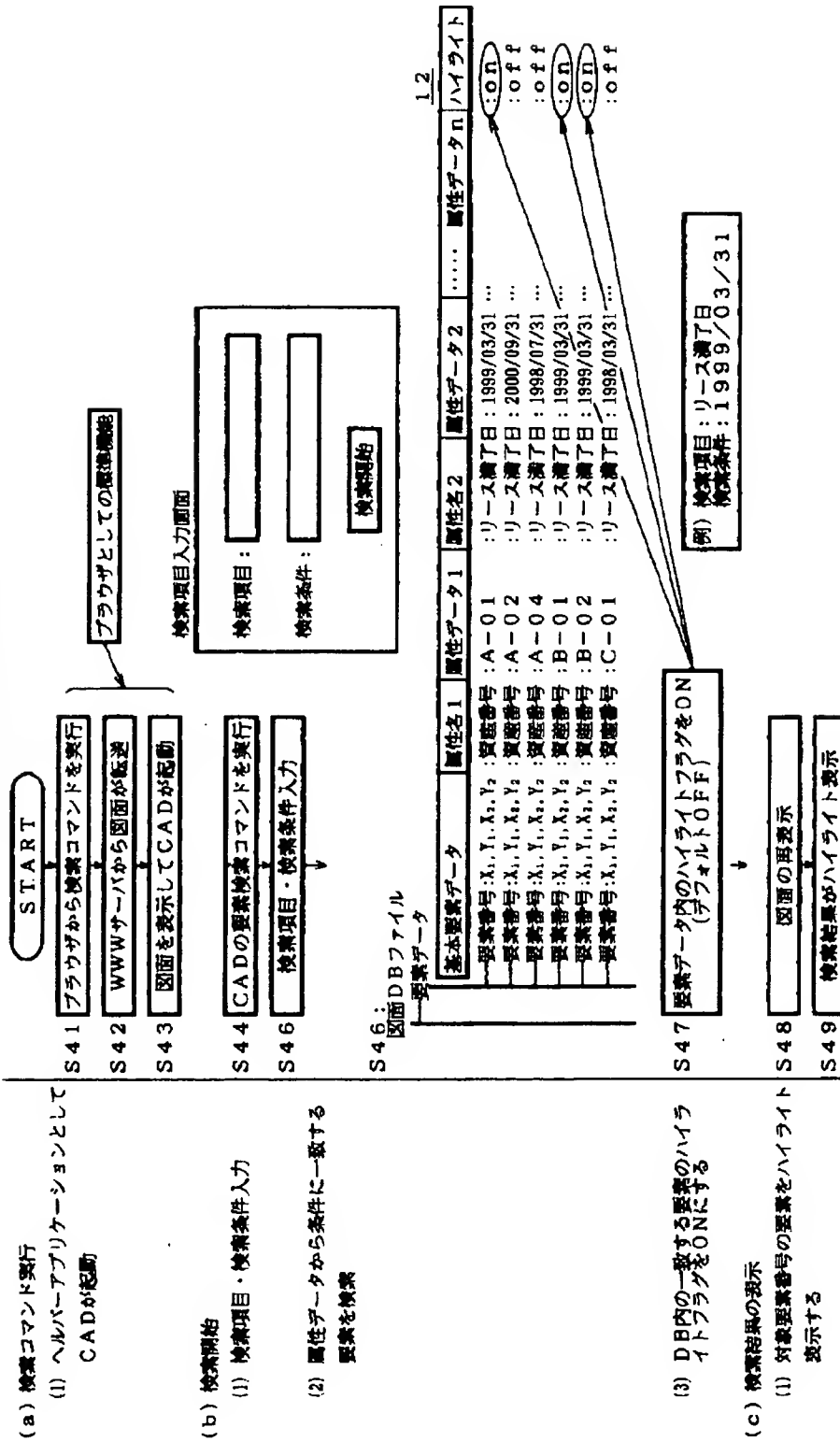
【図5】

本発明の説明図（その3）



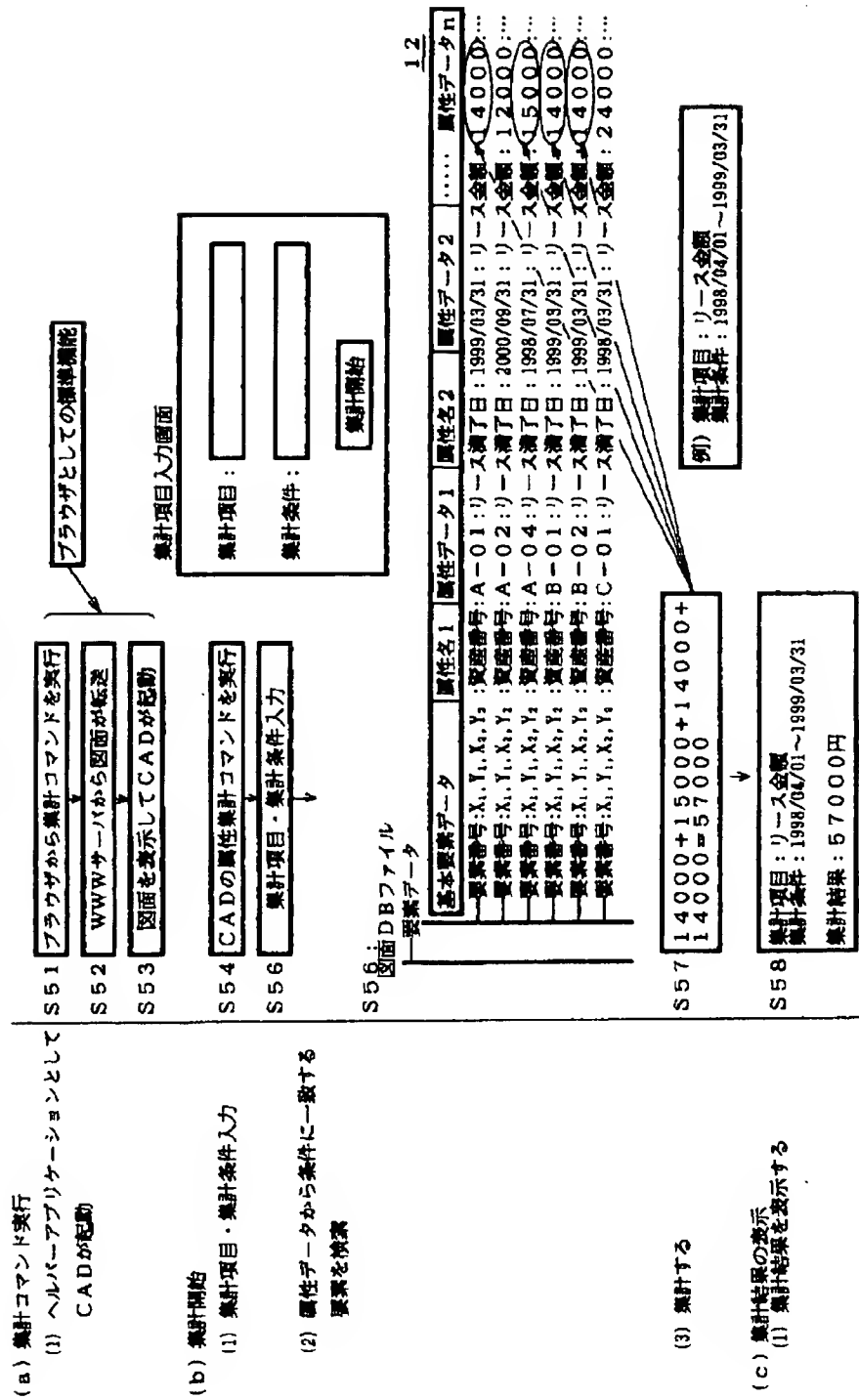
【図6】

本発明の検索説明図

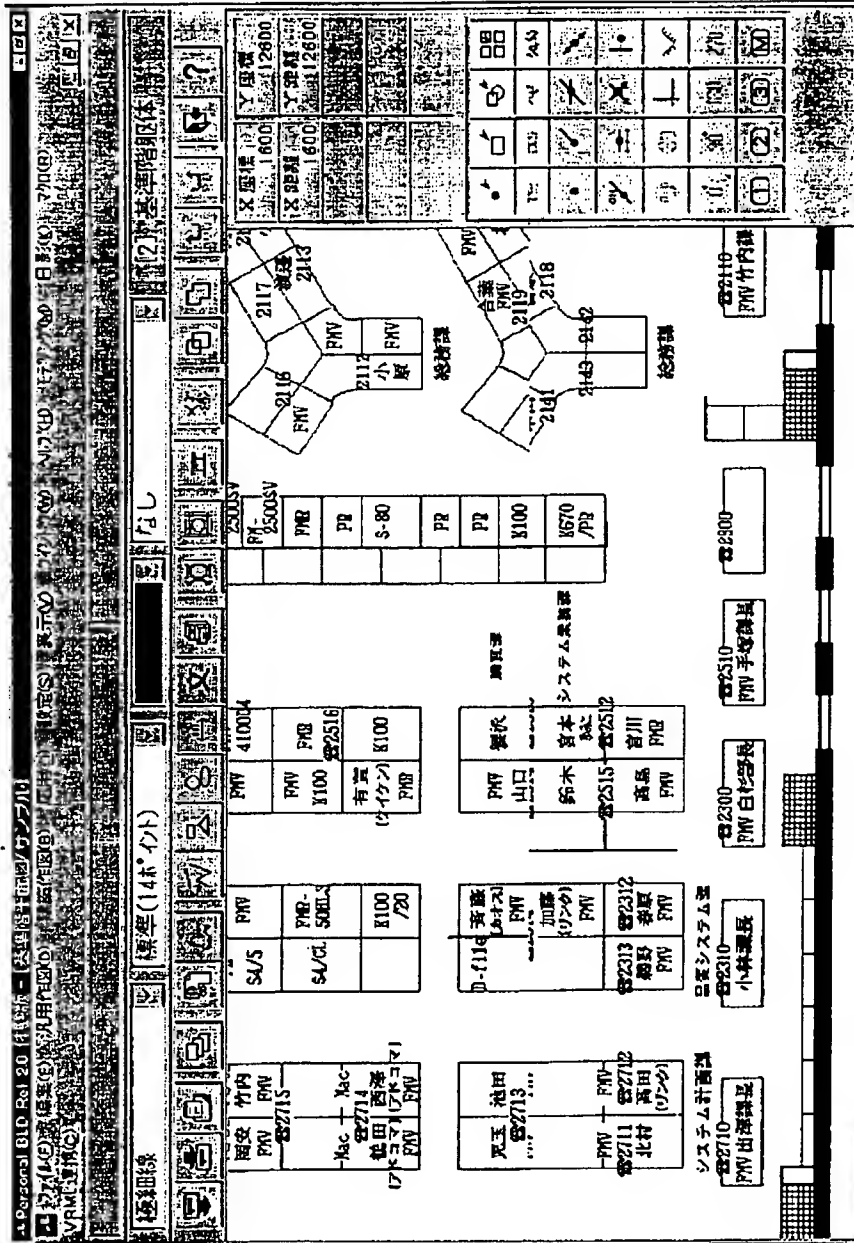
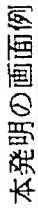


【図7】

本発明の集計説明図



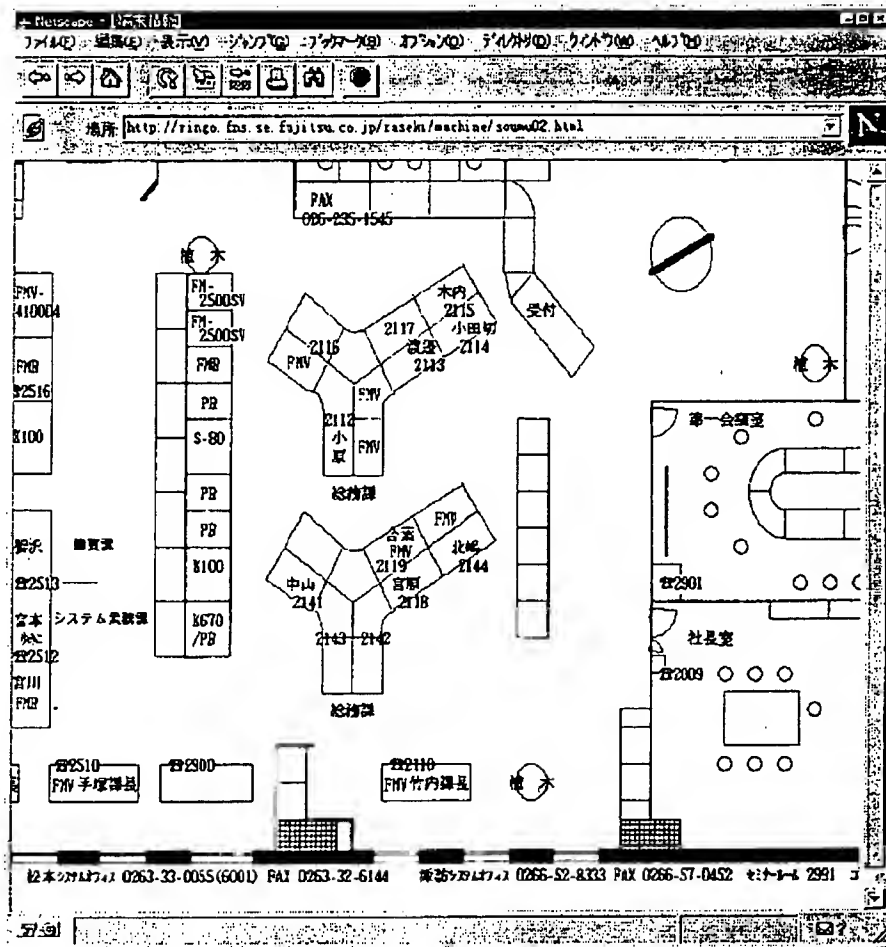
【図8】





【图9】

### 本発明の座標表図面データ例



【図10】

## 本発明の個人プロフィール例

個人プロフィール

場所: <http://ringo.fns.se.fujitsu.co.jp/personal/profile/people/tomcat/tomcat.html>

(1) 氏名 (みりがな): 北村 賢治 (きたむら けんじ)  
 (2) 所属: システム計画課  
 (3) 電話番号 (内線): 2711  
 (4) 入社年度: 昭和60年度  
 (5) 性別: 男  
 (6) NIFTY-ServeID: HHE01304  
 (7) E-mailアドレス: tomcat@fns.se.fujitsu.co.jp  
 (8) 誕生日: 昭和37年12月30日  
 (9) 血液型: AB型  
 (10) 担当業務履歴: ~平成5年度: 解析研究室: 構造解析ソフトの拡張/技術サポート  
 ~現在 システム計画課: デジネス企画 他  
 (11) 保有資格: 情報処理技術者試験2種  
 (12) 趣味特技: 読書(SF, 戦争アクション 等)、模型制作、パソコン収集  
 (13) 自己PR: 今まででは、物事をネガティブに考えがちなが、これからは、何事もポジティブに考えていきたい。

フロントページの続き

(72)発明者 北村 賢治

長野県長野市大字鶴賀字鍋屋田1403番地3

株式会社富士通長野システムエンジニア

リング内